

高等学校 令和7年度（6学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究演習A

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究演習A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 6 学年 BC 組

教科担当者： 駒田

使用教科書：（ 詳説世界史（山川出版） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究演習A の目標：

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains detailed learning objectives for the subject.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当時間. It details the content and assessment for various units in the course.

2 学 期	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 ①中世のヨーロッパにおいてローマカトリック教会が権威を持つに至る背景を理解する。 ②十字軍の遠征の経緯と、封建社会が解体に向かった背景を、教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解する。 ③中世の都市が獲得した政治的地位や、そこでの人々の暮らしについて理解する。 ④ビザンツ帝国の衰退の要因、ビザンツ文化が果たした世界的な意義、スラヴ人の自らの経緯を理解する。 ⑤各国における身分制議会の成立と王権の伸張の関係を理解する。 ⑥中世のヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を理解する。	1 西ヨーロッパの封建社会とその展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	【知識・技能】 中世ヨーロッパの商業の活動状況とその特徴、封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動き、ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。 【思考・判断・表現】 中世ヨーロッパの商業の活動状況とその特徴、封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動き、ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世ヨーロッパの商業の活動状況とその特徴、封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動き、ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ①10世紀の東アジアでの政権交替の背景、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 ②宋の海外関係の特徴、社会や経済・文化の発展の様子を理解する。 ③モンゴル帝国の成立背景、東西交流の新しさ、ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し表現する。	1 アジア陸地地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国	【知識・技能】 10～13世紀のモンゴル帝国を含めた東アジアの情勢、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。 【思考・判断・表現】 10～13世紀のモンゴル帝国を含めた東アジアの情勢、東アジア内の交流と再編を中心に多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 10～13世紀のモンゴル帝国を含めた東アジアの情勢、東アジア内の交流と再編を中心に見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第9章 大交易・大交差の時代 ①明朝の統治の特徴、明との朝貢関係と世界的な商業の発展が諸地域にもたらした影響、中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ②16世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解する。 ③ヨーロッパの人々の進出がアジアや中南米にもたらした影響や変化を理解する。 ④16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。	1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアの動向や、ヨーロッパの海洋進出の動機や背景、経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアの動向や、ヨーロッパの海洋進出の動機や背景、経緯を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアの動向や、ヨーロッパの海洋進出の動機や背景、経緯を見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 ①オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③ムガル帝国におけるヒンドゥー教とイスラーム教後の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ④清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。	1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域	【知識・技能】 オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、清朝の基礎が築かれた経緯や政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、清朝の基礎が築かれた経緯や政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、清朝の基礎が築かれた経緯や政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
第11章 近代ヨーロッパ世界の動向 ①ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する③16世紀後半から18世紀にかけてのスペイン・オランダ・イギリス・フランス・オーストリア・プロシヤ・ロシアの国内状況と国際関係を理解する。 ④科学革命の成果と、ヨーロッパ人に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想	【知識・技能】 ルネサンスや、キリスト教の新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分佈、ヨーロッパ各国の状況、科学革命と呼ばれる一連の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 ルネサンスや、キリスト教の新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分佈、ヨーロッパ各国の状況、科学革命と呼ばれる一連の変化について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルネサンスや、キリスト教の新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分佈、ヨーロッパ各国の状況、科学革命と呼ばれる一連の変化について見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
合計							70